

お彼岸は日本独自の仏教行事であります。

此岸に対する言葉であり、此岸とは此の方の岸、つまり私たちのいるこの世のことでもあります。そして彼岸とは彼の岸、お浄土のことを表しているのです。

春分と秋分の日、太陽は真東から昇り真西に沈みます。西に沈む太陽の先に阿弥陀仏の浄土を想いお念仏申す日がお彼岸でございます。

親鸞聖人は、私が浄土を願うのではなく、浄土から私が願われている存在であることをお示しく下さいました。その浄土からののはたらきかけがお念仏となり、明日をも知らないこの私を照らし、はたらきかけて下さっているのです。

コロナ禍の昨今慌ただしい生活を過ごしている中でありますが、お彼岸のご縁を通じて、先だって逝かれた有縁の方々を偲びながら阿弥陀さまにお念仏申す日暮を送りましょう。